

わたしを信頼することは、絶望に陥ったり、現実逃避に走ったりする以外の、もう一つの選択肢である。逆境のただ中にいるときは、明晰な思考を保つことが難しくなることもある。しかし、そのようなときにこそ、賢明に判断していくことがきわめて重要となる。時には、いろいろな選択肢があなたのそばでぐるぐる回っていて、まるで、あなたが正しい一つをつかみ取るのを待ち構えているような状況があるだろう。しかし、常にひとつだけは、いつでも適切かつ効果的と言える選択肢がある。心を尽くしてわたしに拠り頼むことを決意することが、それである。もしもあなたが、絶望の淵へと転げ落ちる瀬戸際にいるならば、立ち止まって、あなたの救い主であるわたしを信頼すると宣言しなさい。小さくつぶやき、はっきりと声に出して言い、大声で叫びなさい。わたしに拠り頼むことで安心できる理由について、しばらく考える時間を取りなさい。あなたに対する、わたしの決して裏切らず、尽きることのない愛を思い起こしながら、喜び賛美しなさい。もしあなたが、現実を認めようとしないことで、痛みを麻痺させたのであれば、そのように信頼を言い表すことが、究極的現実そのものである。わたしとの出会いのきっかけとなる可能性がある。愛する者よ。わたしを信頼しなさい。なぜなら、わたしの知識は無限であって、あなたの置かれている状況について、わたしは何もかも理解するのだから。わたしが、あなたの右の手を固く握り、「恐れるな。わたしがあなたを助ける」と言っているのだから。

【新改訳 2017】

箴言 3:5

心を尽くして【主】に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。

詩編 52:8

しかし私は神の家に生い茂るオリーブの木。私は世々限りなく神の恵みに拠り頼む。

イザヤ 41:13

わたしがあなたの神、【主】であり、あなたの右の手を固く握り、『恐れるな。わたしがあなたを助ける』という者だからである。